

岩手 署名5万6千筆を県議会に提出

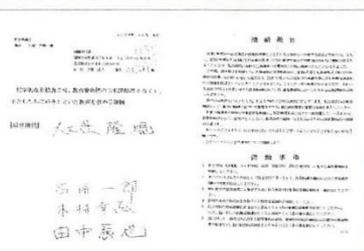
私学助成をすすめる岩手の会事務局発行

2023年12月5日

私学助成ニュース 速報

高校生が初めて参加し、署名と請願書を手渡す

56,085筆の署名を提出



12月4日(月)、県内の私立高校生徒会執行部など(盛岡誠桜2名、専修大学北上2名、水沢第一2名、一関修紅3名)・教職員ら計19名が参加し、工藤大輔岩手県議会議長へ56,085筆の署名を提出し、県の授業料助成など一層の私学助成の拡充を要請しました。10/3(火)春の私学助成県知事宛ハガキ提出に続いての高校生参加となりました。

参加した高校生からは「私立でも公立でも自分で行きたい学校に行ける生徒を一人でも増やそうという思いを込めて署名を集めました」「私立と公立の授業料の壁ができてしまい高校進学の実行が狭まっている生徒がいます。年収620万円以上の生徒にも無償化をお願いします。」「アルバイトをしなければ学校に通えない友人がいます。」「公立に通う姉と私立に通う私の学費の差が大きく、保護者に申し訳ない気持ちでいます。」など生の声を届けることができました。工藤県議会議長からは「生徒の皆さんの署名活動、本当にご苦労様です。私も長女は私学の高校で、息子は公立でしたので授業料の違いは認識しています。他の都道府県の制度を参考にしながら議会でも委員会でも審議していきたいと思います」と採択に向けて前向きな発言をしてくれました。